

平成 25年度

事業報告書

社会福祉法人

京丹波町社会福祉協議会

平成25年度京丹波町社会福祉協議会

事業報告

I 総括

未曾有の災害、東日本大震災から3年が経ちました。25年度も、特別警戒警報が全国で初めて発令された台風18号が京都府を襲い、福知山市、舞鶴市、南丹市、亀岡市、等近隣の自治体をはじめ、本町においても、河川の氾濫による床上・床下浸水等大きな被害を受けました。“災害はよそのこと”ではない、ということ強く感じた年でありました。そのような中、災害ボランティアセンターの立ち上げの重要性、具体化に向けた取り組みを早急に実施することを痛感した年でもありました。

その一方、孤独死やいじめ問題、自殺問題等、つながりがあれば、見守りがあれば、と思われる事故・事件が後を絶たない現実も突きつけられているのも事実です。

このような状況の中で、京丹波町社会福祉協議会では、「この町で生まれてよかった。住んで良かった。」と住民のみなさんに思っただけできるよう、住民のご理解とご協力の中、ふれあいいきいきサロン活動等の見守り・声かけ活動や町当局のご支援の中、毎日給食や外出支援事業をはじめとする「高齢者支援事業」「地域自立支援事業」「ファミリー・サポート・センター」「福祉教育・体験学習」「お誕生カード」等々、高齢者・障害者・児童とあらゆる分野における支援事業（町委託事業）の展開、さらには、直接サービスの供給体として介護保険事業所を運営し、介護保険サービスの提供を行い、安心のまちづくりに向けた様々な事業を展開しています。

また、福祉活動を展開している中で、地域のみなさんと一緒になって進めていく活動が、超高齢社会の中で担い手の不足、負担感の増大等、困難になってきているという新たな問題や、地域の中できずな、見守りだけでは解決できない複雑・重層化した個別の福祉課題が起こっています。こういった現状を的確にとらまえ課題整理を行い、新たな活動を提起、住民に信頼される事業を展開しなければならないと考えています。

以下、平成25年度の事業を項目別に報告します。

II 社会福祉協議会運営基盤の強化

1 会員増強運動・・・7月・8月に区長会の協力を得て実施

種別	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
一般会員	2,101,000	1,697,000	1,508,000	5,306,000	成人者：1,000円
特別会員	15,000	185,000	15,000	215,000	会社、事業所：5,000円
賛助会員	48,000	0	9,000	57,000	福祉施設、団体、機関等：3,000円
合計	2,164,000	1,882,000	1,532,000	5,578,000	

2 法人運営

■会務

(1) 理事会の開催

開催月日	協議内容
平成25年 5月24日	任期満了による評議員の同意について、24年度事業報告について、24年度資金収支決算について 他
平成25年 6月24日	任期満了による正副会長の選任について、会長事故ある時の職務代理者の指名について 他
平成25年 8月 1日	京丹波町社協の事業・予算の概要について、社協支所・事業所の視察
平成25年11月29日	25年度上半期事業執行状況について、25年度上半期資金収支予算執行状況について 他

平成26年 3月14日	異動に伴う評議員の同意について、平成25年度資金収支補正予算（案）について、26年度事業計画（案）について、26年度資金収支予算（案）について 他
-------------	---

(2) 監査会の開催

開催月日	協議内容
平成25年 5月15日	平成24年度事業報告・資金収支決算について監査
平成25年11月20日	平成25年度上半期事業・資金収支予算執行状況の監査（中間監査）

(3) 評議員会の開催

開催月日	協議内容
平成25年 5月29日	任期満了による理事及び監事の承認について、24年度事業報告の承認について、24年度資金収支決算の承認について 他
平成26年 3月28日	異動に伴う理事の承認について、25年度資金収支補正予算（案）の承認について、26年度事業計画（案）の承認について、26年度資金収支予算（案）の承認について 他

(4) 三役・支所長会の開催

開催月日	協議内容
平成25年 4月12日	24年度事業報告・収支決算に向けて、任期満了に伴う役員の改選について、24年度職員体制について、社協のあり方検討委員会の発足について、日程調整について、他
平成25年 5月14日	24年度事業報告及び資金収支決算について、25年度第1回監査会について、介護よろず相談事業について、日程調整 他
平成25年 7月 5日	25年度一般会費の徴収について、第2回福祉まつりの開催について、夏季休暇の取得について、日程調整 他
平成25年 8月 7日	社協のあり方検討委員会について、ボランティア基金の運用について、第2回福祉まつりについて、職員退職に伴う採用について 他
平成25年 8月27日	共同作業所職員採用について、ボランティア基金の運用について、共同作業所支援プログラムについて、赤い羽根共同募金運動について 他
平成25年10月15日	25年度上半期事業及び資金収支執行状況について、台風18号災害の取り組みについて、高齢者雇用制度について 他
平成25年11月18日	25年度上半期事業及び資金収支執行状況について、中間監査会について、共同作業所工賃向上について、日程調整 他
平成25年12月16日	町理事者と26年度福祉予算・社協活動要望懇談会
平成25年12月24日	26年度町予算要望（補助金・委託金）について、毎日給食の祝祭日実施について、年末年始の対応について 日程調整 他
平成26年 2月 6日	26年度事業計画及び予算編成について、京都府指導監査について、災害ボランティアセンターについて、デイサービスセンターの運営について、日程調整 他
平成26年 2月20日	26年度デイサービス事業の運営について、26年度給食サービス事業の運営について、透析患者送迎サービスについて、日程調整 他

平成26年 3月10日	社協給与規則の改正について、26年度事業計画（案）について、26年度資金収支予算（案）について、異動による理事及び評議員の交代について、職員異動内示について、日程調整 他
-------------	---

(5) 各種運営委員会の開催

委員会名	丹波支所	瑞穂支所	和知支所	合計
地域在宅福祉委員会	0	0	0	0
心配ごと相談所運営委員会	1回	1回	0	2回
福祉資金貸付委員会	1回	1回	0	2回
ボランティアバンク運営委員会	2回（25年度から統合し、実施）			2回
共同募金配分委員会	2回	2回	2回	6回
合計	6回	4回	2回	12回

III 在宅福祉推進事業

【総合支援事業】

1 福祉サービス利用援助事業

<p>■認知症・物忘れのある方、知的障害や精神障害で福祉サービスを利用するための手続きが良く分からなかったり、日常的な金銭管理をするのが一人では不安な方を対象に支援する事業。</p> <p><具体的には></p> <p>① どんな福祉サービスがあるか分からない。どんな手続きをすればよいのか分からない方</p> <p>② 介護保険関係の書類や行政からの通知が来ても内容がよく分からない方</p> <p>③ 物忘れが激しく、お金や通帳をしまい忘れたり、公共料金や福祉サービス利用料等の支払いがしにくい方 等</p>
--

(1) 契約・支援等の件数・・・平成26年3月31日現在

	契約件数					解約件数	保留件数	現支援件数					生活保護受給者数	相談継続件数
	認知症	知的障害	精神障害	その他	計			認知症	知的障害	精神障害	その他	計		
丹波支所	5	2	1	0	8	1	4	5	2	1	0	8	2	4
瑞穂支所	4	0	1	0	5	0	1	4	0	1	0	5	0	1
和知支所	4	0	0	0	4	1	0	4	0	0	0	4	0	0
合計	13	2	2	0	17	2	5	13	2	2	0	17	2	5

●平成25年度新規契約者数 → 6名

●平成25年度解約契約者数 → 2名

(2) 支援内容

支援内容	丹波	瑞穂	和知	合計	備考
○福祉サービス利用援助	8	5	4	17	福祉サービス利用契約手続き支援
○日常的な金銭管理	8	5	4	17	衣食住等の日常経費の管理
○通帳・はんこの預かり	8	5	4	17	通帳・はんこの管理
○書類等預かりサービス	3	5	1	9	年金証書、権利証書の預かり

(3) 生活支援員の状況

●登録者：17名 実働活動者：16名

(4) 生活支援員等研修状況

研 修 名	開 催 日	内 容
生活支援員新任研修 (京都府社協主催)	5月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ●講義1 福祉サービス利用援助事業の概要について ●講義2 生活支援員の職務について 日常生活を支える生活支援員 ●講義3 我が町の生活支援員の取り組み 宇治田原町社会福祉協議会の取り組み ●実践発表 生活支援員として思うこと 宇治市社協生活支援員 城陽市社協生活支援員からの実践発表 ●グループ討議 小グループに分かれて交流
福祉サービス利用援助事業 専門員・担当職員会議 (京都府社協主催)	7月 3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ●専門員・担当者会議 ・福祉サービス利用援助事業について ●テーマ別研究交流会 ・地域生活定着支援センターの取り組み ～地域定着までの支援の実際 ・事例報告 木津川市社会福祉協議会の取り組み ・グループワーク
成年後見・法人後見制度に 関する学習・検討会 (京都府社協主催)	10月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ●基調報告 成年後見制度等をめぐる今日的な課題 ●事例報告1 京都市社協における法人後見事業の現状 ●事例報告2 綾部市社協における法人後見事業の取り組み経過と現状・課題 ●行政報告 権利擁護をめぐる今日的な課題と方向性 ●グループ討議 グループに分かれて事例報告の振り返り
福祉サービス利用援助事業生活 支援員現任研修 (京都府社協主催)	<p>■北部 11月15日(金)</p> <p>■南部 11月22日(金)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●報告 「福祉サービス利用援助事業の現状」 府社協事務局からの説明 ●報告 「京都府障害者・高齢者権利擁護支援センターの取り組みについて」 講師 京都府障害者・高齢者権利擁護支援センター 社会福祉士・精神保健福祉士 今井 昭二 氏 ●講義・グループワーク 「権利を擁護することと生活支援員の関係」 講師 京都文教短期大学教授 竹之下 典祥 氏
福祉サービス利用援助事業 南丹ブロック現任生活支 援員研修交流会	12月 6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ●講義 「生活保護制度について」 講師 亀岡市健康福祉部 地域福祉課 担当課長 秋山 龍作 氏 ●グループ討議 ●まとめ
京丹波町生活支援員交流 研修会	12月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ●見学研修1 園部まごころステーション陽だまり ●見学研修2 京丹波町共同作業所 ●意見交流

地域福祉権利擁護事業にかかるとの関係機関とのブロック別情報交換会	12月19日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉サービス利用援助事業の事例報告 <ul style="list-style-type: none"> ・向日市社協 ・亀岡市社協 ●ケース事例をとおしての社協との連携状況について 南丹市社会福祉課 相談支援専門員 高屋 光晴 氏 ●グループ討議
成年後見制度・みまもり家族セミナー	2月13日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ●みまもり家族制度について 公益財団法人 日本ライフ協会 京都事務所 坪井 太郎 氏 ●成年後見制度について 小寺一矢法律事務所 小寺陽平 弁護士 ●質疑応答
法人後見・市民後見等に係る意見交換会	3月4日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ●講演「大阪市における市民後見の取り組み」 講師 大阪弁護士会 井上 計雄氏 ●講演「知多地域成年後見センターの設立経過と業務内容」 講師 NPO 婦人知多地域成年後見センター 事務局長 今井 友乃氏

(3) 今後の課題

■年間利用者数が13件程度で推移していたが、25年度においては17件と昨年度と比較して4件増加した。また、25年度から26年度にかけて、支援の相談に入り、契約に向けた準備を進めているケースが4件程度あり、利用者の増加は予想していたことであるが、新規の支援は、生活全体の支援（就労や借金の返済等、生活費の確保といった課題を持つ）が必要な対象者が増大しているという特徴を持っている。

行政機関や民生児童委員、ケアマネジャー等とより一層連携を深めていく必要と、生活支援員の育成と増員、また、本会の支援体制（職員の配置等）のあり方等課題が出てきているのも事実である。

高齢者、障害者の方の生活を守る意味でも、本制度の支援を強化していくことが大切であると考えます。

【高齢者福祉事業】

1 介護保険事業の推進

京丹波町社会福祉協議会では、住民のみなさまに直接的なサービスの提供していくことを目指し、以下の介護保険事業を実施しています。

- ① 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援
- ② 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅生活支援
- ③ 通所介護事業・・・デイサービスセンターに通所し、入浴・健康管理の支援
- ④ 訪問入浴介護事業・・・入浴車で在宅まで出向き、入浴等の支援

以上の事業は、要介護認定を申請いただき、要支援及び要介護の認定を受けられた方に対して提供する介護保険サービス事業です。

それぞれの事業実績報告を行います。

(1) 居宅介護支援事業・・・ケアマネジャーによる介護サービス利用の支援

職 種 名	丹波事業所	瑞穂事業所	合 計	備 考
管理責任者	1	1	2	
ケアマネジャー	3	2	5	2名管理責任者兼務

■予防介護支援事業の実績（要支援1・2の利用状況実績）

	要 支 援 1		要 支 援 2		合 計
	丹波事業所	瑞穂事業所	丹波事業所	瑞穂事業所	
25年度利用者数	38	26	279	104	447
24年度利用者数	70	21	199	117	407
23年度利用者数	79	41	156	52	328
前年度比 (%)	54.3%	123.8%	140.2%	88.9%	109.8%
23年度比 (%)	48.1%	63.4%	178.8%	200.0%	136.3%

■居宅介護支援事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

	介 護 1		介 護 2		介 護 3		介 護 4		介 護 5		合 計
	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	
25年度利用者数	316	144	386	258	161	89	101	76	30	16	1,577
24年度利用者数	355	140	306	231	161	92	129	94	38	29	1,575
23年度利用者数	322	92	275	218	168	78	125	85	25	40	1,428
前年度比 (%)	89.0	102.9	126.1	111.7	100.0	96.7	78.3	80.9	78.9	55.2	100.1
23年度比 (%)	98.1	156.5	140.4	118.3	95.3	114.1	80.8	89.4	120.0	40.0	110.4

(2) 訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援

職 種 名	丹波事業所	瑞穂事業所	合 計	備 考
管理責任者	1	1	2	ホームヘルパー（正職員）が、 管理責任者、サービス提供責任者を兼務
サービス提供責任者	2	1	3	
常勤ホームヘルパー	2	1	3	
登録ホームヘルパー	11	9	20	

■予防訪問介護事業の実績（要支援1・2の利用状況実績）

	要 支 援 1		要 支 援 2		合 計
	丹波事業所	瑞穂事業所	丹波事業所	瑞穂事業所	
25年度利用者数	10	20	61	28	119
24年度利用者数	0	22	72	37	131
23年度利用者数	8	38	41	34	121
前年度比 (%)	0%	90.9%	84.7%	75.7%	90.8%
23年度比 (%)	125.0%	52.6%	148.8%	82.4%	98.3%
25年度提供回数	37	76	238	194	545
24年度提供回数	0	90	250	226	566
23年度提供回数	30	145	168	183	526
前年度比 (%)	0%	84.4%	95.2%	85.8%	96.3%
23年度比 (%)	123.3%	52.4%	141.7%	106.0%	103.6%

■訪問介護事業の実績（介護1～5までの利用状況実績）

	介 護 1		介 護 2		介 護 3		介 護 4		介 護 5		合 計
	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	丹波	瑞穂	
25年度利用者数	123	67	137	104	38	42	48	38	19	7	623
24年度利用者数	110	75	106	99	40	57	53	50	23	35	648
23年度利用者数	95	45	101	92	87	29	56	39	32	40	616

前年度比 (%)	111.8	89.3	129.2	105.1	95.0	73.7	90.6	76.0	82.6	20.0	96.1
23年度比 (%)	129.5	148.9	135.6	113.0	43.7	144.8	85.7	97.4	59.4	17.5	101.1
25年度提供回数	1,003	460	875	621	476	475	1,229	513	746	38	6,436
24年度提供回数	829	533	646	670	571	541	1,186	593	678	133	6,380
23年度提供回数	751	227	655	816	1,494	343	835	617	539	484	6,716
前年度比 (%)	121.0	86.3	135.7	92.7	83.4	87.8	103.6	86.5	110.0	28.6	100.9
23年度比 (%)	133.6	202.6	133.6	76.1	31.7	138.5	147.2	83.1	138.4	7.9	95.8

■自主的な職員研修の開催・・・京丹波町ホームヘルパーのつどい

開催日	内 容
5月 5日 (日)	●町内ヘルパーの交流会と年間活動計画の検討
7月	●町内各事業所の見学 ■ヘルパーがそれぞれ分かれて、町内事業所の見学と交流を行う。 ■12日 (金)・19日 (金) : あい愛、23日 (火) : 長老苑、 25日 (木) : クローバーサービス
9月26日 (木)	●介護講習 講師 ひだまり代表 稲葉 耕太 氏
11月28日 (木)	●感染症の予防について 講師 南丹保健所 宮本副主査、賀集技師
2月20日 (木)	●施設見学「まごころハウス (古民家を活用した高齢者住宅)」と困難事例研修・意見交換会

■活動の中で・・・

① ヘルパーニーズの多様化の中での対応課題 ●デイサービス利用の際の送り出しや迎え入れ等、活動時間が同時間に重なるといった需要 ●早朝や夜間 (就寝準備や投薬管理) 等のヘルパー需要
② 登録ヘルパー不足の恒常化 等、様々な課題を抱えながら、活動を展開。

(3) 訪問入浴介護事業

職 員	瑞 穂 事 業 所	備 考
管理責任者	1	
看護職員	3	
介護職員	2	介護職員が管理責任者を兼務

■訪問入浴介護事業 (介護1～5の利用状況)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合 計
25年度利用者数	0	1	0	14	4	19
24年度利用者数	0	0	2	26	20	48
23年度利用者数	0	7	11	18	16	52
前年度比 (%)	0	0	0	53.8	20.0	39.6
23年度比 (%)	0	14.3	0	77.8	25.0	36.5
25年度提供回数	0	3	0	51	11	65
24年度提供回数	0	0	5	88	73	166
23年度提供回数	0	47	28	68	50	193

前年度比 (%)	0	0	0	58.0	15.1	39.2
23年度比 (%)	0	6.4	0	75.0	22.0	33.7

■活動の中で・・・

- 訪問入浴介護事業については、利用者の入院や死亡という状況の中で、利用者が減少。利用者の確保が大きな課題であるが、事業の特性上（デイサービスやヘルパーでは対応できない重篤な方へのサービス提供）の問題もある。

(4) 通所介護事業

■予防通所介護事業（要支援1・2の利用状況実績）

	要支援1	要支援2	合計
25年度利用者数	11	116	127
24年度利用者数	18	120	138
23年度利用者数	47	63	110
前年度比 (%)	61.1%	96.7%	92.0%
23年度比 (%)	23.4%	184.1%	115.5%
25年度提供回数	37	734	771
24年度提供回数	64	673	737
23年度提供回数	217	344	561
前年度比 (%)	57.8%	109.1%	104.6%
23年度比 (%)	17.1%	213.4%	137.4%

■通所介護事業（介護1～5の利用状況実績）

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
25年度利用者数	174	184	110	77	33	578
24年度利用者数	177	166	98	88	38	567
23年度利用者数	126	151	100	67	58	502
前年度比 (%)	98.3	110.8	112.2	87.5	86.8	101.9
23年度比 (%)	138.1	121.9	110.0	114.9	56.9	115.1
25年度提供回数	1,272	1,540	625	538	177	4,152
24年度提供回数	1,252	1,139	475	596	241	3,703
23年度提供回数	912	895	440	486	408	3,141
前年度比 (%)	101.6	135.2	131.6	90.3	73.4	112.1
23年度比 (%)	139.5	172.1	142.0	110.7	43.4	132.2

■活動の中で・・・

- サービス提供の目標を、「サービス時間内において、利用者が楽しく、気持ちよく生活できる場所の提供」と設定して取り組んだ。その中で、年間を通した誕生会や季節を感じる外出、リース作り等の手作業、レクリエーションの工夫を行うことができた。また、祝祭日の営業についても、1月～3月に取り組むことができた。ただ、開かれたディサービスを目標に参観日や家族会の開催を計画していたが実施できなかった。
- 本会のディサービスの特徴として、利用登録者数の割に、利用回数が多いという特徴があります。これは、同じ人が週2回程度利用するということであり、その方が入所等で利用がなくなると利用回数が大幅に減るということになる課題があり、利用登録者数の増やしていくことが課題である。

2 高齢者支援事業・・・京丹波町委託事業

京丹波町在宅高齢者在宅高齢者等生活支援事業実施要綱に基づき、くらしを営んでいく上で、介護保険事業のサービスになじまない、また、要介護認定を受けるところまでいかない方を対象にした以下の事業を、生活支援事業として実施しました。

- ① 軽度生活支援事業・・・掃除・洗濯・調理等、軽易な日常生活上の支援
- ② 外出支援事業・・・・・・通院を基本として送迎
- ③ 食の自立支援事業
 - ③-1 毎日給食事業・・・・月～土の夕食弁当の提供
 - ③-2 かけはし弁当事業・・・月2回、ボランティアによる弁当の提供
 - ③-3 高齢者ふれあい調理実習会
- ④ 訪問理美容事業・・・・在宅に訪問し、登録された理美容師が散髪を行う
- ⑤ ミニデイサービス事業・・・・介護予防を目的に健康増進、生きがいづくりのサービス
- ⑥ 介護よろず相談事業・・・・介護関係を中心にした相談事業

を実施しました。

以上の事業は、要綱に基づき、対象者については、京丹波町長の認めた者で、利用は申請が必要であり、また、有料です。

それぞれの事業実績報告をします。

(1) 軽度生活支援事業

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
25年度利用者数	35	30	0	65
24年度利用者数	33	32	5	70
23年度利用者数	44	7	8	59
前年度比(%)	106.1%	93.8%	0%	92.9%
23年度比(%)	79.5%	428.6%	0%	110.2%
25年度提供回数	120	91	0	211
24年度提供回数	89	109	5	203
23年度提供回数	123	26	14	163
前年度比(%)	134.8%	83.5%	0%	103.9%
22年度比(%)	97.6%	350.0%	0%	129.4%

(2) 外出支援事業・・・(福祉有償運送事業)

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
25年度利用者数	693	445	223	1,361
24年度利用者数	686	529	265	1,480
23年度利用者数	758	487	243	1,488
前年度比(%)	101.0%	84.1%	84.2%	92.0%
23年度比(%)	91.4%	91.4%	91.8%	91.5%
25年度提供回数	2,527	1,761	421	4,709
24年度提供回数	2,659	2,287	472	5,418
23年度提供回数	3,431	1,939	487	5,857
前年度比(%)	95.0%	77.0%	89.2%	86.9%
23年度比(%)	73.7%	90.8%	86.4%	80.4%

(3) - 1 食の自立支援事業 (毎日給食)

■利用料：1食 500円

	瑞穂地区	和知地区	合計
25年度利用者数	495	169	664
24年度利用者数	516	147	663
23年度利用者数	458	189	647
前年度比 (%)	95.9%	115.0%	100.2%
23年度比 (%)	108.1%	89.4%	102.6%
25年度提供食数	7,767	3,392	11,159
24年度提供食数	7,721	3,074	10,795
23年度提供食数	6,351	3,948	10,299
前年度比 (%)	100.6%	110.3%	103.4%
23年度比 (%)	122.3%	85.9%	108.%

(3) - 2 食の自立支援事業 (ふれあい型給食サービス「かけはし弁当」)

	配食数	調理ボランティア数	配食ボランティア数
25年度合計数	1,025	122	383
24年度合計数	990	126	392
23年度合計数	1,062	120	388
前年比 (%)	103.5%	96.8%	97.7%
23年度比 (%)	96.5%	101.7%	98.7%

(3) - 3 高齢者食生活改善事業 (高齢者ふれあい調理実習会)

<丹波地区>

	対象地域	開催日	開催場所	参加人数
第1回	竹野地区	6月11日(火)	若竹センター	13
	須知地区	6月14日(金)	丹波中央公民館	9
	高原地区	6月12日(水)	丹波中央公民館	8
	下山地区	6月13日(木)	丹波中央公民館	13
第2回	竹野地区	12月3日(火)	若竹センター	13
	須知地区	12月5日(木)	丹波中央公民館	7
	高原地区	12月4日(水)	丹波中央公民館	10
	下山地区	12月6日(金)	丹波中央公民館	16
合 計				89

<瑞穂地区>

	対象地域	開催日	開催場所	参加人数
第1回	桧山地区	6月13日(木)	瑞穂保健福祉センター	20
	梅田地区	6月19日(水)	梅田振興センター	12
	三ノ宮地区	6月14日(金)	三ノ宮基幹集落センター	12
	質美地区	6月18日(火)	質美振興センター	13
第2回	桧山地区	11月18日(月)	瑞穂保健福祉センター	14
	梅田地区	11月27日(水)	梅田振興センター	10
	三ノ宮地区	11月20日(水)	質美振興センター	4

	質美地区	11月29日(金)	質美振興センター	7
合 計				92

<和知地区>

区 名	対 象 者		く る む の 会		区 名	対 象 者		く る む の 会	
	第1回	第2回	第1回	第2回		第1回	第2回	第1回	第2回
中山	12	12	3	2	仏主	8	8	1	1
升谷	6	3	2	2	本庄	6	6	4	3
市場	12	10	2	2	坂原	8	7	2	2
大倉	5	5	2	2	中	7	7	2	3
篠原	5	6	3	3	角	11	10	3	1
大迫	7	9	3	3	広瀬		6		2
長瀬	11	17	4	1	才原	13	18	2	3
塩谷	5	7	1	1	大簾	6	7	3	3
上乙見	6	7	2	2	広野	12	10	2	2
西河内	12	14	2	2	出野	5	5	2	2
下栗野	7	10	1	1	稲次	9	8	2	2
細谷	2	2	1	1	安栖里	9	4	5	3
上栗野	4	4	1	1	小畑	15	10	3	3
25年度実績						203	212	58	53
24年度実績						218	202	51	57

(4) 訪問理美容事業

■利用料：1回 1,000円

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
25年度利用者数	23	4	7	34
24年度利用者数	13	14	13	40
23年度利用者数	22	11	19	52
前年度比(%)	176.9%	28.6%	53.8%	85.0%
23年度比(%)	104.5%	36.4%	36.8%	65.4%

(5) ミニデイサービス事業(にこにこクラブ・・・和知地区実施)

	実施回数	参加者数	スタッフ数
25年度実績	105	1,098	394
24年度実績	98	1,066	377
23年度実績	82	978	300
前年比(%)	107.1%	103.0%	104.5%
23年度比(%)	128.0%	112.3%	131.3%

(6) 介護よろず相談所事業

■対象者：町内に住所を有する概ね65歳以上の要援護高齢者等及びその家族等

■内 容：(1) 在宅介護等に関する各種相談、助言及び情報提供

(2) 相談内容の解決に適した保健福祉サービスの紹介及び関係機関との連絡調整

(3) 介護予防(介護サービスを含む)に関する啓発

(4) 援助の必要な高齢者に対する虐待の防止（早期発見を含む）及び権利擁護のために必要な支援、協力

(5) その他町長が必要と認める事業

等、地域包括支援センターを中心に、介護問題等の早期発見・早期対応を目的に、相談機能の充実を図るべく、より身近なところで、気軽に相談できる場所として事業を実施

■京丹波町内に11相談所を開設（町内の介護保険事業所に設置）

<相談状況>

	丹波	瑞穂	和知	合計
25年度相談数	41件	26件	7件	74件
24年度相談数	23件	18件	7件	48件

<相談内容及び相談方法>

項目		電話	来所	訪問	FAX	メール	その他	合計
相談内容・ 相談方法	介護福祉サービス利用希望	10件	10件	1件	件	件	件	21件
	在宅介護相談	7件	13件	5件	件	件	2件	27件
	権利擁護	件	件	件	件	件	件	件
	虐待防止	件	1件	件	件	件	件	1件
	住環境調査	件	件	件	件	件	件	件
	その他	14件	10件	1件	件	件	件	25件
	25年度相談数	31件	34件	7件	件	件	2件	74件
	24年度相談数	20件	24件	2件	件	件	2件	48件

<在宅福祉活動の展開の中で>

- 1 直接サービスの提供を行う中で、利用者の“求めること”の実現に結びつくことができ、社会福祉協議会活動への認識の深まりが進んできているのではないか。
- 2 介護保険サービス事業の提供も重要であるが、高齢者支援活動(外出支援・毎日給食等)の利用者が年々増加傾向にある。これは、介護保険サービスという“枠”だけでは、高齢者の生活支援は難しく、より身近な、暮らしをしていく上での具体的な支援の必要性が問われてきているのではないか。
- 3 サービスを提供する中で語られる当事者の“思い”や“願い”を地域福祉活動の中にかに活かしていけるかが、問われている。
- 4 職員間の連携が必要であり、常に情報を共有することのできる機会づくりを図っていかなければならない。
- 5 当事者と地域をつなぐ方法は？、地域と地域をつなぐ方法は？、等々、今問われている「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、社会福祉協議会の持っている機能を十分に活かすことが問われてきているのではないかと感じる。

↓

・・・「共に生きる福祉のまちづくり」・・・

【障害者福祉事業】

1 障害者自立支援事業

(1) 居宅介護・重度訪問介護事業・・・ホームヘルパーによる在宅支援事業

	障害程度 区分1	障害程度 区分2	障害程度 区分3	障害程度 区分4	障害程度 区分5	障害程度 区分6	合計
25年度利用者数	24	41	27	0	3	30	125

24年度利用者数	26	55	41	0	4	23	149
23年度利用者数	20	64	16	0	2	21	123
前年度比(%)	92.3	74.5	65.9	0	75.0	130.4	83.9
23年度比(%)	120.0	64.1	168.8	0	150.0	142.9	101.6
25年度提供回数	96	181	130	0	10	745	1,162
24年度提供回数	127	313	213	0	17	401	1,071
23年度提供回数	77	263	94	0	5	232	671
前年度比(%)	75.6	57.8	61.0	0	58.8	185.8	108.5
23年度比(%)	124.7	68.8	138.3	0	200.0	321.1	173.2

2 障害者等生活支援事業

(1) 外出支援事業（一般外出）

■対象者：障害者手帳を所持されている方で、公共交通機関を利用することが困難な方

■内 容：障害者の自立生活を維持し、要介護状態への進行を防止するために必要と認められる通院や買い物の送迎

	瑞穂・丹波		瑞穂・丹波	
25年度利用者数	37		25年度提供回数	282
24年度利用者数	30		24年度提供回数	262
23年度利用者数	12		23年度提供回数	216
前年度比(%)	123.3%		前年度比(%)	107.6%
23年度比(%)	308.3%		前年度比(%)	130.6%

(2) - 1 重度心身障害児・者通院通所事業・・・人工透析通院送迎事業

■対象者：人工透析患者

■内 容：人工透析のための通院送迎

	丹波	瑞穂	和知	合計		丹波	瑞穂	和知	合計
25年度利用者数	0	106	96	202	25年度提供回数	0	626	1,239	1,865
24年度利用者数	40	71	74	185	24年度提供回数	365	561	902	1,830
23年度利用者数	79	59	62	200	23年度提供回数	597	318	710	1,625
前年度比(%)	0	149.3	129.7	109.2	前年度比(%)	0	111.6	137.4	101.9
22年度比(%)	0	179.7	154.8	101.0	前年度比(%)	0	196.9	174.5	114.7

■平成24年11月から、透析送迎事業の運行経路の見直しを行った。

●月・水・金の午前送迎を

第1便：和知支所発・・・27号線利用者乗車・・・南丹病院

第2便：瑞穂支所発・・・9号線利用者乗車・・・南丹病院

(2) - 2 重度心身障害児・者通院通所事業・・・花ノ木医療福祉センター通所送迎

■対象者：花ノ木医療福祉センター療育指導利用者

■内 容：療育指導のための通所送迎

	瑞 穂		瑞 穂	
25年度利用者数	24		25年度提供回数	108
24年度利用者数	24		24年度提供回数	185
23年度利用者数	26		23年度提供回数	198
前年度比(%)	100.0%		前年度比(%)	58.4%

■平成25年度から、週1回（水曜日）の送迎となる。

(3) 障害者ガイドヘルパー派遣事業

	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
25年度利用者数	25	13	18	56
24年度利用者数	27	7	23	57
23年度利用者数	19	16	16	51
前年度比(%)	92.6%	185.7%	78.3%	98.2%
23年度比(%)	131.6%	81.3%	112.5%	109.8%
25年度提供回数	163	14	51	228
24年度提供回数	154	8	64	226
23年度提供回数	123	22	40	185
前年度比(%)	105.8%	175.0%	85.0%	100.9%
23年度比(%)	132.5%	63.6%	127.5%	123.2%

【児童福祉事業】

(1) ファミリー・サポート・センター事業

- 生後3カ月から、小学校6年生までの子どもを対象にして、依頼会員（お願い会員…子どもを預ける側）、提供会員（預かり会員…子どもを預かる側）の相互援助事業として以下の活動を行う。
 - ① 保育所、幼稚園等の開始前の時間や終了後の時間に子どもを預かること。
 - ② 保育所、幼稚園等の施設に送迎を行うこと。
 - ③ 放課後、または、放課後児童クラブ（学童保育）等の終了時、子どもを迎えに行き、その後子どもを預かること。
 - ④ 保護者の急用「疾病・看護・冠婚葬祭等」のため、少しの時間子どもを預かること。
 - ⑤ 子どもの習い事の場所まで送迎すること。

①各会員登録状況・・・()内は24年度実績

会員名	登録者数	会員名	登録者数	会員名	登録者数
依頼会員	33名(20名)	提供会員	30名(18名)	両方会員	4名(2名)

●平成25年度新規登録者 依頼会員：13名 提供会員：14名 両方会員：2名

●平成25年度退会者 依頼会員：0名 提供会員：2名 両方会員：0名

…会員拡充の最も有効な手段が口コミ等、個人的な勧誘となっているため、26年度においても積極的に声かけ等を継続するとともに、「預かり保育ルーム」の実施の拡充や会員交流会の充実を図り、ファミリー・サポート・センター事業をより多くの住民に活用・利用していただく努力が必要である。

②研修会・交流会の開催

NO	開 催 日	研 修 内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> ●預かり会員養成研修会…① 平成25年 5月30日(木) ●預かり会員養成研修会…② 平成25年 6月 4日(火) 	①子どもの病気と事故防止について ②子どもの権利(人権)について ③救急救命講習 ④子どもの社会性と遊びについて ⑤預かり会員として活動するために 会員交流と自宅レポート作成 計15時間講習 9名受講

2	<ul style="list-style-type: none"> ●預かり会員養成研修会…① 平成25年11月27日(水) ●預かり会員養成研修会…② 平成25年12月4日(水) 	①子どもの病気と事故防止について ②子どもの権利(人権)について ③救急救命講習 ④子どもの社会性と遊びについて ⑤預かり会員として活動するために 会員交流と自宅レポート作成 計15時間講習 8名受講
3	<ul style="list-style-type: none"> ●会員交流会 平成25年10月19日(土) 10:00~12:00 	質美笑楽講「絵本ちゃん」にて会員同士の交流 絵本の読み聞かせと茶話会 提供会員5名 依頼会員2名(子供4名)参加
4	<ul style="list-style-type: none"> ●ファミリー・サポート交流会 平成26年2月11日(火) 13:30~15:00 	人形劇観賞会 NPO法人「むむのこ」の人形劇を鑑賞 90名の参加

③活動実績・・・調整状況

事業名	回数	内容
マッチング	13回	<ul style="list-style-type: none"> ●サービス提供の需給調整活動 ●依頼会員の要望にあった提供会員との引き合わせ及び活動についての事前打ち合わせ ・・・対象児童も含めた面接の機会をつくる
活動実績	211回	<ul style="list-style-type: none"> ●休日の仕事 ●用事の時の預かり ●保育施設への送迎(1)

- 活動数については、保育施設への送迎希望が3ケース(毎日送迎)あり、実績数が大幅に増加。
- 保護者の急用、外出による預り依頼が多く、活動の前日に登録・説明、マッチングを行うことがあったが、即対応できる提供会員があつて、活動の展開ができました。
- 活動中の事故対応について、会員への意識向上を図ることが急務である。

④「預かり保育ルーム」の実施

- ファミリー・サポート・センター事業を身近なものと感じてもらふことや、提供会員の活動の場として、平成25年9月から実施。
- 保育所や幼稚園を利用していない乳幼児を対象に、保護者が自分の時間を確保できる等、目的に実施。

実施日時(場所は、ほほえみ2階プレールームにて)	預り乳幼児数	スタッフ数
平成25年10月31日(木)	3人	3人
平成25年11月19日(火)	5人	5人
平成25年12月16日(月)	5人	5人
平成26年1月23日(木)	4人	4人
平成26年2月19日(水)	5人	5人
平成26年3月28日(金)	5人	3人
合計	27人	25人

- 試行的な取り組みとして実施したため、会場が瑞穂地区のみとなつたが、26年度においては、各地区で実施していく方向である。
- 提供会員の活動の場になり、意欲的に子ども達と関わってもらふことができた。

【地域福祉推進事業】

1 啓発活動の展開

(1) 社協広報紙「ほほえみ」の発行・・・4回発行

NO	発行日	内容等
第23号	4月17日発行	<ul style="list-style-type: none"> ●ここたん命名式 ●社協事業の紹介 ●家族介護者交流事業 ●きょうと地域福祉活動実践交流会 in 綾部 ●社協職員の紹介（組織紹介） ●新規採用職員紹介 ●心配ごと相談所開設の案内 ●福祉映画上映会の開催 ●「ファミリー・サポート・センター」よりお知らせ ●日赤社資協力をお願い ●寄付お礼
第24号	6月17日発行	<ul style="list-style-type: none"> ●25年度事業計画・予算の説明 ●「ファミリー・サポート・センター」よりお知らせ ●京丹波町作業所NEWS ●社協事業の紹介 ●社協会員募集をお願い ●寄付お礼
第25号	9月17日発行	<ul style="list-style-type: none"> ●役員改選による会長就任のごあいさつ ●新役員・評議員の紹介 ●平成24年度事業報告・決算の説明 ●赤い羽根共同募金協力をお願い ●夏休み社会福祉体験学習参加レポート ●「ファミリー・サポート・センター」よりお知らせ ●京丹波町共同作業所NEWS ●寄付のお礼
第26号	1月17日発行	<ul style="list-style-type: none"> ●理事・監事の新春メッセージ ●第2回福祉まつりの開催 ●共同作業所NEWS ●社協事業の紹介 ●京都府社会福祉大会：各表彰者紹介 ●平成26年度社会福祉予算要望書を町長に提出 ●寄付のお礼 ●共同募金活動の報告とお礼

(2) 第2回「福祉まつり」の開催

京丹波町社会福祉協議会の事業内容や町内ボランティアグループの活動について、町民が楽しみながら理解し、身近に感じることで共に支え合うことの大切さ、活動に自分が参加できる実感を確認できると共に、そうした活動を通じて、高齢者や障害者はもちろん誰もが住みなれた地域の中で普通に生活することが当たり前の社会となるよう福祉のまちづくりを目指す目的で、「第2回福祉まつり」を開催した。

【日時】平成25年9月29日（日）午前10時00分～午後3時00分

【場所】京丹波町瑞穂山村開発センター「みずほ」

【内容】①京丹波町福祉功労者表彰

- ボランティア活動功労者（個人：39名、団体：1団体）

②福祉講演会

- テーマ「いつも笑顔ではつらつ人生」

講師：栗木 剛 氏（mottoひょうご事務局長）

③ボランティアグループ活動発表

- 大正琴同好会
- 手話サークル「いちょう」
- コーラスサークル「カナリア」

④社協活動紹介コーナー

⑤ボランティア活動展示（活動紹介パネル展示：各ボランティアサークル作成）

⑥共同作業所自主製品販売

⑦保健福祉課健康コーナー

- 今回は、健康づくり推進協議会、保健福祉課の協力を得て実施

⑧ふれあいバザー

⑨くるみの会試食会

⑩協力団体による模擬店

【参加者】550名

2 地域で安心した生活を送るために・・・つながりを大切に活動展開

(1) ふれあい・いきいきサロン活動の展開

① ふれあいサロン各地区の設置状況及び活動状況

丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
28地区／32地区 (84.4%)	26地区／32地区 (81.3%)	11地区／27地区 (40.7%)	65地区／91地区 (71.4%)
・延べ開催実績 176回	・延べ開催実績 299回	・延べ開催実績 91回	・延べ開催実績 566回

② 研修・交流活動

研修名	開催日時	内容
ふれあいいきいきサロン 活動者交流研修会	7月9日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ●講演 講師 あそびの工房もくもく屋 田川 雅規 氏 ●事務局から 各種活動補助金のお知らせ ●活動実践報告 <ul style="list-style-type: none"> ①市森サロン（丹波） ■サロン以外でも見守り活動 ②下村サロン（瑞穂） ■男性の参加：男性が女性に料理を振る舞う ③篠原サロン（和知） ■新たなサロンのかたちへ ・・・それぞれ特徴ある活動実践報告を行う ●活動用機材（レクリエーション等）の展示
下山地区ふれあいサロン 連絡会	10月28日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ●サロン活動の情報交換及び交流 ●レクリエーションの紹介と運用

須知・高原地区ふれあいサロン連絡会	11月27日 (水)	●サロン活動の情報交換及び交流 ●レクリエーションの紹介と運用
竹野地区ふれあいサロン連絡会	3月7日 (金)	●サロン活動の情報交換及び交流 ●レクリエーションの紹介と運用

③ ふれあい・いきいきサロン活動の広がりと課題

<ul style="list-style-type: none"> ●社協が実施する「ふれあい・いきいきサロン活動」だけでなく、老人クラブによる自主的な活動の支援へと大きな広がりを見ることとなった。 ●“買い物難民”と言われる中山間地域において、サロンの活動内容を“買い物外出”といった方法で取り組む等のサロンが生まれてきている。見守りから、くらしの支援への活動展開が図られつつある。 ●また、様々な機関と連携を図りながらサロン活動を展開することによって、これまでの保健師等による健康相談だけでなく、南丹警察署の協力を得て、「悪徳商法の寸劇」の鑑賞、認知症サポーターによる学習会等の活動ができた。 ●開催100回記念サロン（下大久保サロン）を開催し、地域におけるサロン活動を地域住民全員で確認する等、活動が地道に広がってきていることを確認できた。 ●サロン活動を支える人たちが、地域の活動（村の役員・維持管理活動等）を行う上で、すべて関わっているという現状の中で、忙しい・余裕がない、「サロン活動が大切なことは分かっているが、できない・・・」等、負担感があり、活動を中止せざるを得ない地域も出てきた。
--

(2) 小地域ボランティア高齢者支援事業

① 傾聴ボランティアによる訪問活動の展開

項目/地区	丹波		瑞穂		和知		合計	
	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度	24年度	25年度
活動回数	89	135	34	71	252	192	375	398
延べ訪問回数	101	123	70	59	240	180	411	362
訪問対象件数	16	20	24	32	20	19	60	71
サークル員数	8	7	9	8	10	10	27	25

●傾聴ボランティア活動の中で、介護保険事業につなげる等、地域の中に入ることによって、制度利用がわからない等、の住民が数多くいることが明確になってきている。

② 地域ボランティア支援活動

グループ名	対象地域	活動内容
下山末広会	白土・尾長野・蕨・知野辺・駅前・黒瀬	配食活動の展開/年2回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者 高齢者世帯
グリーンハイツすみれ会	下山グリーンハイツ	配食活動の展開/年4回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者 高齢者世帯
上豊田ひまわり会	上豊田	配食活動の展開/年4回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者 高齢者世帯
蒲生ボランティアグループ	蒲生	食事会/年3回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者 美化活動・サロン活動実施
花岡会	曾根・院内・幸野・森・塩田谷・上野・蒲生・蒲生野・須知	配食活動の展開/年4回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者

		高齢者世帯
竹野 ほほえみの会	笹尾・中畑・辻村・中村・下村・ 鎌倉・西階・水戸・新水戸	食事会/年3回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者
豊田あじさいの会	豊 田	食事会/年3回 対象：一人暮らし高齢者、80歳以上高齢者

- 南丹保健所から指導を受けた衛生管理研修会で、配食活動の安全性（調理・食事）と食中毒（夏季・冬季に限らず）との関連説明等を受け、グループ間で地域活動についてじっくり考える機会を持つこととなり、配食活動にかかわる活動の展開を検討する。

(3) 一人暮らし高齢者レクリエーション事業の実施

① 丹波地区一人暮らし高齢者レクリエーション事業

第 1 回	対 象	丹波地区内在住の一人暮らし高齢者
	開 催 日 時	平成25年10月25日（金）
	開 催 場 所	道の駅「和」、道路情報センター
	開 催 目 的	●京丹波町丹波地域の在宅で暮らしている一人暮らし高齢者（65歳以上）を対象に、参加者同士の親睦交流や介護予防、生きがいつくりを目的に開催。 今年度は「健康」をテーマに、京丹波町和知診療所理学療法士太田有次氏を講師に招き、健康について運動や講話を聴き、交流会を開催した。
	出 席 者	総数 91名（対象者数 72名、民生児童委員 15名、職員 4名）
回	協働体制	●丹波地域保健福祉室（開催案内等の協力） ●民生児童委員協議会丹波支部（参加案内・集約・送迎等の協力）

② 瑞穂地区一人暮らし高齢者レクリエーション事業

第 1 回	対 象	瑞穂地区内在住の一人暮らし高齢者
	開 催 日 時	平成25年10月22日（火）
	開 催 場 所	京都市内観光 ●東映太秦映画村、八つ橋庵とししゅう館
	開 催 目 的	●民生児童委員協議会瑞穂支部と連携、閉じこもりや孤立しがちな一人暮らし高齢者の集える場所や機会を作り、当事者同士の情報交換や仲間づくりの場として楽しい時間を過ごし、生きがいつくりの一環とすることを目的に実施。
	出 席 者	総数59名（対象者数42名、民生児童委員11名、職員3名）
回	協働体制	●保健福祉課 ●民生児童委員協議会瑞穂支部（参加案内・集約・送迎等の協力）

③ 明るく元気にくらそう会の開催（和知地区）

第 1 回	対 象	和知地区在住の一人暮らし高齢者
	開 催 日 時	平成25年11月22日（金）
	開 催 場 所	道の駅「和」、道路情報センター
	開 催 目 的	●一人で暮らしている高齢者が一堂に集まり、一人暮らし高齢者のもつ諸問題を出し合い研修を深めるとともに、交流・親睦を深め、一日ゆっくり楽しんでもらうことを目的として実施。
	出 席 者	総数 85名（対象者数 65名、民生児童委員 18名、職員 2名）
回	協働体制	●民生児童委員協議会和知支部（共催、参加集約、当日の支援） ●要約筆記ボランティア ●アトラクション協力（大正琴、マジック、フラダンス各グループ）

(4) 家族介護者交流事業（介護者リフレッシュ事業）

<p>●高齢者を介護している家族介護者が、介護保険制度の各種サービスを利用しながら、教養・文化活動等、介護者相互の交流会に参加することにより、介護からの一時的な解放と介護者の身体的、精神的な負担の軽減を図ることを目的に事業を実施する。</p> <p>●事業実施については、介護者が利用している施設・事業所、ケアマネジャー等の協力を得て行う。</p>		
開催日	内 容	参加状況
リフレッシュ事業 7月17日（金）	<p>●日ごろの介護疲れを精神的にも身体的にも癒し、介護者同士の交流を深めることを目的に日帰り旅行を楽しんだ。</p> <p>…京都「よしもと祇園花月」にて新喜劇を観賞</p>	23名
「家族介護者のつどい」 1月29日（水）	<p>●マッサージ教室 「介護疲れ解消！疲れをとるマッサージ教室」 講師：たにやま鍼灸・按摩マッサージ院 谷山 賢治 氏</p> <p>●昼食交流会 …食事をしながら交流会</p> <p>●介護者交流会 …日ごろの介護について情報交換を行い交流する。</p>	23名

(6) 住民参加の地域福祉推進事業

1) 社会福祉体験学習事業の実施

◆対象…京丹波町在住の中学生、高校生及び須知高校の生徒

◆内容…福祉施設等での体験を通じて福祉活動を学ぶことを目的に実施

…今年度は体験コースを8コース募集し、6コース実施となった。

開催日	内 容	H24	H25	比較
8/7. 8. 9	わちエンジェル（中学生） 【3日間通所型】	6名	8名	2名
8/5. 6. 7	長老苑（中学生） 【3日間通所型】	2名	1名	-1名
申込み者がなく未実施	社協コース（中学生） 【3日間通所型】	1名	0名	-1名
8/1. 2. 3	わちエンジェル（高校生） 【3日間通所型】	7名	3名	-4名
7/29. 30	長老苑（高校生） 【3日間通所型】	2名	1名	-1名
申込み者がなく未実施	社協コース（高校生） 【3日間通所型】	1名	0名	-2名
申込み者がなく未実施	瑞穂山彦苑（中学生） 【3日間通所型】	0	0	0
7/25. 26. 28	瑞穂山彦苑（高校生） 【3日間通所型】	0	1名	1名
8/6. 7. 8	みずほ保育所（中学生） 【3日間通所型】	0	4名	4名
7/31. 8/1. 2	みずほ保育所（高校生） 【3日間通所型】	0	2名	2名
中学生参加者合計		9名	13名	4名
高校生参加者合計		10名	7名	-3名
総合計		19名	20名	1名

●25年度から、京丹波町全体の取り組みとして実施し、従来の長老苑、わちエンジェルの他、山彦苑、みずほ保育所の施設が参加してもらえ、瑞穂中学校の生徒の参加を得ることができた。

V ボランティア振興事業

1 ボランティアバンク登録状況

(1) 年齢・男女別登録状況

	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
丹波	男	0	1	2	0	9	10	22
	女	1	5	7	26	99	100	238
	計	1	6	9	26	108	110	260
	24	0	10	9	31	122	111	283
瑞穂	男	1	1	1	1	4	9	17
	女	1	2	8	15	52	49	127
	計	2	3	9	16	56	58	144
	計	5	5	8	19	60	69	166
和知	男	0	0	1	3	8	19	31
	女	0	0	10	21	80	97	208
	計	0	0	11	24	88	116	239
	計	0	0	11	24	96	125	256
合計		3	9	29	66	252	284	643
24合計		5	15	28	74	278	305	705

(2) ボランティアグループ登録数

	丹波	瑞穂	和知	合計
登録ボランティアグループ	29	14	17	60グループ

2 ボランティア活動状況報告

(1) ボランティアグループ活動報告

①丹波地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	運転ボランティア「ハートフルカー」	3回	4名
2	要約筆記ボランティア「イヤフレンズ」	54回	184名
3	朗読ボランティア「ともしび」	38回	180名
4	ハッピーサークル	9回	62名
5	演芸ボランティア「丹波せせらぎ会」	7回	24名
6	演芸ボランティア「民謡みやび会」	30回	180名
7	演芸ボランティア「瑞舟会」	15回	35名
8	演芸ボランティア「苑の会」	6回	17名
9	お誕生カードボランティア「すずらん」	10回	30名
10	絵手紙ボランティア	11回	55名
11	くらしの応援ボランティア「ひらめき会」	15回	55名
12	保育ボランティア	42回	145名
13	美容ボランティア「愛(めぐみ)の会」	11回	55名
14	竹野ほほえみの会	5回	100名
15	花岡会	11回	100名
16	蒲生ボランティアグループ	7回	98名
17	上豊田ひまわり会	9回	63名
18	豊田あじさいの会	4回	44名
19	下山吉尾の会	4回	10名
20	グリーンハイツすみれ会	51回	105名
21	グリーンハイツなごみ会	20回	400名

22	富田萩の会	7回	100名
23	傾聴ボランティア「うさぎの耳」	135回	123名
24	アロハフラピカケ	5回	40名
25	くるみの会丹波支部	8回	45名
26	大正琴すみれ会	3回	11名
27	蒲生野もこもこ文庫	27回	90名
28	カナリア	7回	85名
29	さくらんぼ	16回	40名
丹波支所活動計（イ）		570回	2,480名

②瑞穂地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	収集ボランティア「めぐみ」	6回	37名
2	要約筆記ボランティア「ささやき」	26回	54名
3	朗読ボランティア「あかり」	16回	90名
4	デイサービス介助ボランティア「あじさい」	474回	611名
5	暮らしの応援ボラ手作り介護用品「コスモス」	16回	71名
6	暮らしの応援ボラ「ダイナミックス」	19回	123名
7	保育ボランティア	29回	46名
9	絵手紙ボランティア「ふきのとう」	13回	131名
10	押し花ボランティア「花かご」	23回	105名
11	配食ボランティア「虹のかけはし」	295回	491名
12	傾聴ボランティア「なかよし会」	71回	172名
13	手話サークル「いちよう」	23回	181名
14	くるみの会瑞穂支部	8回	36名
瑞穂支所活動計（ロ）		1,019回	2,148名

③和知地区

NO	ボランティアグループ名	年間活動回数	年間出勤人数
1	要約筆記サークル「くさぶえ」	72回	201名
2	朗読ボランティア「こだま会」	15回	182名
3	ガイドヘルパー「みちづれ」	55回	55名
4	十三の会	72回	144名
5	七八会	19回	58名
6	みんなで手をつなごう会	13回	81名
7	大迫グループ	32回	65名
8	虹の会	12回	252名
9	お誕生カードづくりボランティア「天花」	13回	85名
10	手芸ボランティア「モチーフ」	13回	52名
11	舞踊ボランティア「つぐみ会」	3回	4名
12	ふれあい給食サービス「調理ボランティア」	20回	122名
13	ふれあい給食サービス「配食ボランティア」	343回	802名
14	彩いろグループ	5回	45名
15	才原グループ「ふきのとう」	5回	15名
16	大正琴同好会	13回	88名

17	くるみの会和知支部	7回	125名
和知支所活動計（ハ）		829回	2,376名
総 合 計（イ+ロ+ハ）		2,418回	7,004名

（2）個人ボランティア活動報告

活 動 内 容	活動回数	活動者数
京丹波町身体障害者福祉会体育大会のボランティア支援	1回	8名
瑞穂山彦苑夏祭りボランティア	1回	9名
全京都車イス駅伝競走大会ボランティア（雨天中止）	回	名
ギター演奏・歌	1回	10名
腹話術・マジック	3回	4名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵原画書き	9回	18名
ふれあい給食「かけはし弁当」帯び絵名前書き	20回	20名
桜梅園秋祭り（雨天で中止）	回	名
合 計	35回	69名

3 ボランティア研修・養成講座・交流会の開催

研修・講座名	開催日・場所	対 象	内 容
衛生管理研修会	5月24日（金） 10：00～11：30 丹波中央公民館 3階大会議室	給食サービスボ ランティア・く るみの会会員・ サロンボランテ ィア・ ヘルパー 他 26名出席	「食品の衛生について：食中毒を防ぐために」 ・手洗い方法について ・調理器具の消毒について ・食中毒の三原則について 他 <講師> 南丹保健所環境衛生室 衛生・検査担当 森元 芳弘 氏
デイジー図書製 作機器導入に向 けての研修会	5月30日（木） 13：00～17：00 瑞穂保健福祉セン ターほほえみ 2階介護研修室 1月31日（金） 10：30～15：00 和知ふれあいセン ター 2階研修室	京丹波町内で活 動する朗読ボラ ンティア 行政担当職員 社協各支所VC	「デイジー図書製作機器の使用方法について」 ・録音の方法 ・デイジー編集の方法 他 <講師> 全国視覚障害者情報提供施設協会 録音委員会 襟川 茂 氏
朗読ボランティ アと利用者交流 会	6月28日（金） 丹波中央公民館	朗読ボランティ ア、利用者（視 覚障害者）、ガイ ドヘルパー	昼食交流会、認知症予防ゲーム、卓球バレー 合唱等で交流を深める。 参加者：19名
朗読ボランティ ア代表者会議	12月29日（月） 3月 3日（月） みずほ保健福祉セ ンターほほえみ ボランティア作業 室	各地区朗読ボラ ンティア代表者	デイジー図書作成に向けて 各サークルの状況について 各地区での分担方法 等、交流を行う

小地域ボランティア連絡会	3月6日(木)	小地域において配食活動を実施するグループ代表者4名	小地域におけるボランティア活動、特に配食活動等についての情報交換と意見交換
京田辺市社協調理ボランティアと和知地区調理ボランティアとの交流研修会	3月13日(木) 和知ふれあいセンター調理室・研修室	京田辺市調理V 和知地区調理V	和知地区調理ボランティアが「かけはし弁当」を作り、一緒に試食を行う中で、5班に分かれて意見交流を行う。
保育ボランティア交流会	3月27日(木)	保育ボランティア、子育て支援センター職員	情報交換・意見交換会

4 広報・啓発活動

ボランティア広報誌名	発行回数	発行部数
ボランティアだより「ほのボラ」	12回	6,000部

5 ボランティア相談件数（京丹波町全体）

年間相談件数	2,424件	性別毎相談件数	男性	382名	相談方法別件数	来所	1,191件
			女性	2,042名		電話	1,006件
						メール	186件
						その他	41件

VI 厚生福祉事業

1 心配ごと相談事業の実施

(1) 年間12回（各支所4回）の心配ごと相談所の開設と年間6回（各支所2回）の弁護士による無料法律相談所を開設し、暮らしの相談を行った。

心配ごと相談	開催日	来談者	無料法律相談	開催日	来談者
1 丹波支所	5月13日	0件	1 瑞穂支所	4月8日	2件
2 瑞穂支所	5月27日	0件			
3 和知支所	6月10日	1件	2 和知支所	6月10日	1件
4 瑞穂支所	7月8日	2件			
5 丹波支所	8月5日	0件	3 丹波支所	8月5日	4件
6 和知支所	9月9日	0件			
7 丹波支所	11月11日	0件	4 瑞穂支所	10月15日	5件
8 瑞穂支所	11月25日	1件			
9 和知支所	12月9日	1件	5 和知支所	12月9日	1件
10 瑞穂支所	1月14日	1件			
11 丹波支所	2月10日	0件	6 丹波支所	2月10日	4件
12 和知支所	3月10日	1件			
25年度相談実績		7件	25年度相談実績		17件
24年度相談実績		10件	24年度相談実績		18件

2 福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

① 京都府社会福祉協議会が貸し付ける資金で、市町村の社会福祉協議会が貸付窓口となり、地域の民生児童委員との連携のもと貸付を行う。

●生活福祉資金貸付委員会において貸付審査を行い、京都府社会福祉協議会に書類を提出し、京都府社会福祉協議会にて貸付決定を行う。

② 生活福祉資金貸付実績

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
生活福祉資金貸付	1	0	0	1

(2) ぐらしの資金貸付事業

① 京丹波町からの委託事業として実施。8月・12月を貸付月として、民生児童委員との連携（意見聴取）のもと、貸付委員会において審査を行い貸付決定する。

② ぐらしの資金貸付実績

	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	合計
ぐらしの資金貸付	0	1	0	1

3 日赤社員増強運動 ⇒ 5月を日赤社員増強運動月間として協力依頼

項 目	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
社資協力金額	830,413円	560,536円	526,649円	1,917,598円

4 共同募金実績

(1) 赤い羽根共同募金運動 ⇒ 10月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
募 金 額	1,216,140円	1,042,094円	842,474円	3,100,708円
配 分 総 額	932,759円	826,371円	715,033円	2,474,163円
① 啓発活動費	209,764円	41,956円	93,306円	345,026円
② 在宅援助活動費	0円	430,000円	130,000円	560,000円
③ 高齢者福祉事業費	166,114円	214,415円	80,920円	461,449円
④ 障害児・者福祉活動費	70,000円	60,000円	100,000円	230,000円
⑤ 母子・父子福祉活動費	99,950円	30,000円	60,000円	189,950円
⑥ 青少年児童福祉事業費	80,000円	50,000円	100,000円	230,000円
⑦ 地域福祉活動費	306,931円	0円	150,807円	457,738円
合 計	932,759円	826,371円	715,033円	2,474,163円

(2) 歳末たすけあい募金 ⇒ 12月を運動月間として住民のみなさんに協力依頼

項 目	丹 波	瑞 穂	和 知	合 計
募 金 額	838,415円	616,338円	599,651円	2,054,404円
共同募金会事務費	63,415円	40,538円	38,051円	142,004円
配 分 総 額	775,000円	575,800円	561,600円	1,912,400円
① 在宅援助活動費	491,000円	473,300円	352,000円	1,316,300円
② 在宅サービス事業費	234,000円	0円	119,600円	353,600円
③ 共同作業所等施設支援費	50,000円	50,000円	90,000円	190,000円
④ 地域福祉活動費	0円	52,500円	0円	52,500円
合 計	775,000円	575,800円	561,600円	1,912,400円

VII その他の事業

1 災害支援活動

●台風18号豪雨災害支援活動…9月16日未明から発生した台風18号豪雨災害の支援活動

(1) 市町村社協災害支援活動

① 京都府社会福祉協議会連合会の災害支援協定に基づき、福知山市・南丹市災害ボランティアセンターに職員を派遣

●福知山市・南丹市災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣日	派遣職員数	活動内容	派遣先
9月19日(木) ～ 9月21日(土)	2名	●災害ボランティアセンター支援職員として活動 ■現地にて、ニーズキャッチ・マッチング・ボランティア活動を調整する活動に従事する。	福知山市社協
9月21日(土) ～ 9月23日(月)	4名	●災害ボランティアセンター支援職員として活動 ■現地にて、ニーズキャッチ・マッチング・ボランティア活動を調整する活動に従事する。	南丹市社協

(2) 京丹波町における災害支援活動

① 京丹波町災害対策本部及び保健福祉課と連携をとる中で、要援護高齢者を中心に支援活動に取り組む

●泥出し作業等、4件を対応

活動日	活動地域	支援内容	備考
9月19日(木)	京丹波町口八田笹尾	自宅裏の土砂崩れ：土砂の片付け作業	独居高齢者
9月24日(火)	京丹波町中	床下浸水の泥かき作業 2件	独居高齢者
10月8日(火) 10月9日(水)	京丹波町竹野西皆	自宅裏の土砂崩れによる車庫及び水路周辺の土砂撤去作業	独居高齢者